

No. 24K0004

2024年9月30日

一般社団法人 日本セキュリティ格付機構

JaSRO (Japan Security Rating Organization)



## 1. 格付結果

|            |  |
|------------|--|
| 企業名        | NRI セキュアテクノロジーズ株式会社                    |
| 格付の種別      | 情報セキュリティ格付                             |
| 格付 I D コード | 10000080206C2414                       |
| 格付スコープ     | クリプト便サービス運用業務                          |
| 格付対象       | クリプト便サービス運用チーム                         |
| 想定リスク      | 情報漏えい                                  |
| 格付符号       | AAA <sub>is</sub> (トリプルA)              |
| 格付の方向性     | 安定的                                    |
| 有効期間       | 2024年9月28日から2025年9月27日まで<br>(交付日から1年間) |

●お問い合わせ先 一般社団法人日本セキュリティ格付機構 〒104-0061 東京都中央区銀座1-22-11  
Japan Security Rating Organization (略称、JaSRO) E-mail:info@jasro.org <http://www.jasro.org>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当機構の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されではありません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当機構は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当機構に留保され、当機構に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2024 JaSRO All rights reserved.

## 2. 当該格付符号とした事由

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（以降、「NRIセキュア」と呼ぶ）は、1995年より野村総合研究所（NRI）内のビジネスユニットとして、情報セキュリティサービスの提供を開始し、2000年に法人化された。

2001年には、Webブラウザから安全に電子ファイルを送受信できるセキュアファイル転送/共有サービス「クリプト便」サービスを開始したのを始め、特権IDアクセス管理システムSecure Cube/AccessCheckなど各種セキュリティソフトウェア、さらには総合的なセキュリティ・コンサルティングを幅広く提供している。2014年5月には、NRIのセキュリティプロダクト事業を承継し、製品ラインナップを拡充した。

情報セキュリティのスペシャリスト集団として、2003年5月にはISO/IEC 27001 (ISMS) の認証を全社全部署にて一括取得している。2020年4月にはISO/IEC 27017 (ISMSクラウドセキュリティ)、ISO/IEC27018(パブリッククラウドにおける個人情報の保護に特化した基準)の認証をクリプト便サービスにて取得している。また、2021年4月には、PCI DSS(クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準)に準拠したことを示す認証を取得し、2023年12月には、ISMAP(政府情報システムのためのセキュリティ評価制度)に認定されるなど、自社のセキュリティ確保が他社の模範となるよう弛まぬ努力を続けている。これらの活動によってクリプト便サービスはセキュリティ対策が高い水準で維持されていることから、クレジットカード情報やマイナンバー等の機密度の高いデータのやり取りに利用されている。

今回、14回目となる更新審査では、引き続き「クリプト便サービス運用チーム」を格付審査対象とし、前回からの変更点等を中心に、検討を行った。

マネジメント成熟度の観点からは、セキュリティ統括責任者を中心とする強固な組織体制が維持されており、体系的に整備された規程類も着実に更新されている。また、ワークフローを取り入れた実装・運用管理が引き続き確実に行われている。年次で「ananmin」によるテストを実施するなど、社内教育による意識向上も継続的に図られている。さらに、自社開発ツールを社内でも導入するとともに、他社のソリューションも柔軟に組み合わせながら、一元的な情報管理が可能となるよう効率化に取り組んでいる。

管理策強度の観点からは、上述のとおり自社の製品・サービスを活用しながら、本番機へアクセスする際の専用室、専用端末の設置をはじめ、サーバへのアクセスチェック機能や脆弱性検査、ファイアーウォールの24時間監視、サイバー攻撃の脅威への対策、書庫へのア

●お問い合わせ先 一般社団法人日本セキュリティ格付機構 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-22-11  
Japan Security Rating Organization (略称、JaSRO) E-mail:info@jasro.org <http://www.jasro.org>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当機構の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されではありません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当機構は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当機構に留保され、当機構に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2024 JaSRO All rights reserved.

セス権管理などの強化を継続的に図っている。クリプト便サービス運用業務では、自社内に蓄積されたセキュリティ管理技術をふんだんに織り込みサービスを提供している。また管理職によるレビューや複数名による作業実施の徹底などを通じて、正当な権限を有する悪意ある内部者に対する管理策も引き続き有効に機能している。また、脆弱性に関する診断（アプリケーション診断、プラットフォーム診断等）を内部の視点も含め定期的に実施している。

総じて、マネジメント成熟度の観点では新たな脅威に迅速に対応し、常時、高水準の管理状態を維持・発展させている。またセキュリティ対策強度の観点では、悪意ある内部者に対する管理策が講じられているとともに、常時リスクをモニタリングし、即時に柔軟な対応ができる体制が維持されている。

---

●お問い合わせ先 一般社団法人日本セキュリティ格付機構 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-22-11  
Japan Security Rating Organization (略称、JaSRO) E-mail:info@jasro.org <http://www.jasro.org>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当機構の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されではありません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当機構は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当機構に留保され、当機構に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2024 JaSRO All rights reserved.